



ビルマ文字で 日本語を書く

1

加藤昌彦

Kano Asuhiko

大阪外国語大学助教授

ビルマ文字はインド系文字の一種である。ビルマ文字を用いてビルマ語が書かれた最古の文献は、西暦一一二一年に刻まれたミャゼーデー碑文(グーピャウチー碑文)である。この頃は角ばった形をしていたが、その後、時をへるにしたがつて丸くなっていた。

ビルマ文字の書き方の基本は、「字母」と呼ばれる子音文字を真ん中に置き、その上下左右のいずれか一箇所あるいは複数箇所に母音を表す記号を置くということである。どこに置くかは母音記号によって決まっている。mの音を表す㉔という字母を例にとろう。たとえば、この㉔の上にiという発音を表す○を置いて○㉔とすると、全体としてはmiという発音を表す。また、㉔の左横にeという発音を表す㉑を置いて㉑㉔とすると、全体としてはmeという発音を表す。このような字母を中心とす

るひとまとまりが、ひとつの音節に対応する。これを左から右へと横に並べていく。

さて、日本語のひらがなのひとつひとつの文字に対応するビルマ文字を挙げていくのはじつをいうと難しい作業である。その理由は後で述べるとして、まず、生じ得る問題が少なくてすみそうなつづり字を個々のひらがなについてはめてみた。

表①にア行からワ行を、表②に濁音を含むものを示す。これにもとづいて日本語の単語をいくつかビルマ文字で書いてみよう(例参照)。

長音、拗音、撥音、促音などを含む音節以外はすべてこれで書ける。これら特殊な音節の書き方は次号で扱う。

ところで、ビルマ文字で日本語を書くとき一筋縄ではないかない問題がある。ビルマ語は日本語に比べると音の

種類が多く、日本語のひとつの音に対して、似た音がビルマ語に複数存在する場合が多い。なおかつ、そのどれもが日本語の音とは少しずつ異なっているときに、どの音を表すビルマ文字をあてるかが問題になるのである。

たとえば、日本語の力行のkの音に似たビルマ語の音として、kとkhがある。ところが、日本語の諸方言のkの音はふつう、ビルマ語のkともkhとも少しずつ違う。このような場合、日本語のkに対しては、kを表すビルマ文字をあてることもできるし、khの音を表す文字をあてることもできる。実際、ビルマ人が日本語の人名や地名を書いたものを集めてみると、文字のあて方は一貫していない。

母音の場合にも、たとえば日本語の「エ」は、ビルマ文字のeを表す文字でもeを表す文字でも書くことができる。

これらについて本稿では、恣意的ではあるが、kとeを表す文字を用いている。しかし、逆に、ビルマ語の側に対応する音が欠けている場合もある。たとえば、「」の子音tsはビルマ語にはない。そこで、普通のsの音に氣息が伴ったshという音を表す文字を用いて表すことにする。

さらに難しい問題として、ビルマ語には声調というものがある。声調というのは単語の意味の区別に使われる音の高低や上がり下がりのことで、中国から東南アジア大陸部にかけての諸言語やアフリカのバントゥー系の諸言語によく見られる。ビルマ語には三つの声調(教え方によっては四つ)があつて、このうちのどれを表す文字を用いればよいかという問題が生じる。これについても、日本語の人名や地名を書き表すときの、ビルマ人の書き方は一

定していない。

このように、ビルマ人のビルマ文字による日本語の書き方は必ずしも一定していない。ところが一方で、ビルマ人が外来語を取り入れるときの方法にはさまざまな制約があり、日本語を書き表すときも無秩序にビルマ語の音を対応させているわけではない。自由なようではじつは自由ではないのである。ここに日本語をビルマ文字で書くときの難しさがある。

表①

あ行	အာ あ	အိ い	အူ う	အေ え	အို _L お/を
か行	ကာ か	ကိ き	ကူ く	ကေ け	ကို _L こ
さ行	စာ さ	စိ し	စူ す	စေ せ	စို _L そ
た行	တာ た	တိ ち	တူ つ	တေ て	တို _L と
な行	နာ な	နိ に	နူ ぬ	နေ ね	နို _L の
は行	ဟာ は	ဟိ ひ	ဟူ ふ	ဟေ へ	ဟို _L ほ
ま行	မာ ま	မိ み	မူ む	မေ め	မို _L も
や行	ယာ や		ယူ ゆ		ယို _L よ
ら行	ရာ ら	ရိ り	ရူ る	ရေ れ	ရို _L ろ
わ行	ဝါ わ				

表②

が行	ဂါ が	ဂိ ぎ	ဂူ ぐ	ဂေ げ	ဂို _L ご
ざ行	ဇာ ざ	ဇိ じ/ぢ	ဇူ ず/づ	ဇေ ぜ	ဇို _L ぞ
だ行	ဒါ だ			ဒေ で	ဒို _L ど
ば行	ဗာ ば	ဗိ び	ဗူ ぶ	ဗေ べ	ဗို _L ぼ
ぱ行	ပါ ぱ	ပိ ぴ	ပူ ぷ	ပေ ぺ	ပို _L ぽ

例

きく(菊)	ကိုကူ
うめ(梅)	အူမေ
さくら(桜)	စာကူရာ
さつき(皐月)	စာဆူကိ
あさがお(朝顔)	အာစာဂါအို
ひまわり(向日葵)	ဟိမာဝါရိ
むらさききぶ(紫式部)	မူရာစာကိရိကိပူ



●ミヤゼーデー碑文